

自己診断機能を強化した産業用パソコン「HF-W6500 モデル 20」を販売開始 インテル®Pentium®M プロセッサ 745(1.8GHz)の採用により性能も向上



「HF-W6500 モデル 20」

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下、日立)は、このたび、産業用パソコン「HF-W6500 シリーズ」に、新たに自己診断機能を強化し、インテル® Pentium®M プロセッサ 745(1.8GHz)を採用して、信頼性と性能を向上させた「HF-W6500 モデル 20」をラインアップに加え、11月14日から販売を開始します。

産業用パソコンは、24時間連続運転と約10年の長期使用を前提とした高い信頼性および長期安定供給が要求される製品です。現在、産業、半導体・電子部品、通信・放送、医療など多岐にわたる分野で利用されていますが、ディスプレイやキーボードを使わずに製造装置の一部として組み込まれて使用される場合も多く、システムの状態監視や障害解析を迅速に行うことが求められていました。

今回販売を開始する「HF-W6500 モデル 20」は、このような産業用パソコン特有の使用環境を想定し、起動と同時に常にシステムの状態を監視し、ハードウェア障害や RAS 異常(*1)の際には、異常内容を知らせるデジタル表示画面を筐体の前面に装備しました。これにより、保守用ディスプレイの接続や組み込み装置からパソコンの取り出しをすることなく、システムの異常検出が可能となります。また、万一の障害の際には、BIOS に内蔵されている簡易診断プログラムを起動させることで、障害内容が画面に表示されるため、ユーザー自身が障害の一次切り分けをすることができます。このように二重の障害検知を行う自己診断機能を強化することにより、迅速かつ詳細に障害個所の特定が可能となり、システム全体のダウンタイムの最小化につながります。

また、インテル® Pentium®M プロセッサ 745(1.8GHz)を搭載することにより、二次キャッシュメモリーが従来機種「HF-W6500」に比べ、2倍の2MBとなるほか、シリアルATA HDD、ギガビットイーサネットなどの技術を採用することで、処理性能をさらに高めました。

現在、OS は Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional および Microsoft[®] Windows[®] XP Professional に対応しており、今後、Linux についてもサポートする予定です。

(*1)RAS 異常:RAS プロセッサにより監視され、検出された異常のこと。(OS 動作停止、温度上昇、ファン停止などの異常)

なお、「HF-W6500 モデル 20」は 11 月 15 日から 18 日まで、東京ビッグサイトで開催される「第 13 回システムコントロールフェア 2005」および 12 月 7 日から 9 日まで、幕張メッセで開催される「セミコン・ジャパン 2005」において展示する予定です。

■新製品の特徴

1. 高い信頼性の確保

(1)自己診断機能の強化

- ・筐体前面に起動時のハードウェア故障や RAS 異常を知らせるデジタル表示画面を装備
- ・主要部品の障害一次切り分けができる簡易ハードウェア自己診断プログラムを BIOS に内蔵
- ・リセット時に主メモリー内容を HDD に保存するメモリーダンプ機能を標準搭載

(2)RAS 機能の充実

- ・本体の状態監視や障害検知など充実した RAS 機能を標準搭載
- ・メモリーリーク解析に有効なメモリー監視ツールおよび自動的に障害の復旧を行うシステム障害監視ツールが搭載可能(オプション)

(3)高信頼化設計による安定稼働

- ・24 時間の連続運転や長期使用を想定し、長寿命のファンや電源装置を採用
- ・コネクタやコンデンサ等の部品レベルまで厳しい検査に合格した高信頼部品を採用
- ・温度・電圧マージン試験などの実施により、安定した稼働を確保

2. システム処理性能の向上

高性能を実現する大容量 2MB の二次キャッシュメモリー、システムバスクロック 400MHz のインテル[®] Pentium[®]M プロセッサ 745(1.8GHz)を採用したほか、シリアル ATA HDD、ギガビットイーサネット、高速 DDR SDRAM メモリーの採用によりシステム処理性能を向上しました。

3. 長期安定供給と充実した保守サービスを提供

販売開始後 3 年間にわたり安定した製品供給を行います。また、保守サービスとして、センドバック保守からオンサイト保守までをメニュー化し、納入後最長 10 年間の保守契約が可能です。さらに、今回新たに割安な返送修理サービスの複数年パック契約をメニューに追加しました。

4. 高い拡張性を確保

ショートサイズからロングサイズまで多種多様の I/O ボードが拡張可能な PCI バスを最大合計 6 スロット(*2)装備しています。また、汎用 5 型ベイを搭載しているため、市販のデバイスも実装可能です。

(*2)ショートサイズ×2 スロット、ロングサイズ×4 スロット。なお汎用 5 型ベイ実装時は変更となります。

5. 海外安全規格に対応

UL/CSA/CE マーク/CCC などの海外安全規格に準拠しています。

■新製品の仕様、価格および出荷時期

項目	HF-W6500 モデル 20	
型式	HJ-6520-5EWJ	HJ-6520-6EWJ
基本構成	インテル®Pentium®M プロセッサ 745(1.8GHz)、 メインメモリー(オプション選定)最大 2GB(ECC 付)、 シリアル ATA 方式 HDD80GB 以上/HDD80GB 以上ミラー、 FDD、CD-ROM、PCI(ロング)×4、PCI(ショート)×2、RGB×1、DVI-D×1、RS-232C×1、 パラレル×1、USB×3(前面 1ch/後面 2ch)、LAN×1、RAS-LSI、RAS 支援ソフト	
標準付属品	キーボード、マウス、電源ケーブル 注)ディスプレイは別売りです。	
プレインストール OS	Windows® 2000 Professional 日本語版	Windows® XP Professional 日本語版
使用期間	24 時間連続運転 10 年間 注)HDD、CD-ROM 等有寿命品の交換が必要です。	
標準価格	オープン価格	
出荷開始予定	A モデル: 2005 年 12 月 29 日 (シリアル ATA HDD モデル) D モデル: 2006 年 2 月 28 日 (シリアル ATA HDD ミラーモデル)	

■略語説明

- ・USB:Universal Serial Bus (外部機器接続用シリアルインタフェース)
- ・DDR SDRAM:Duble data rate SDRAM (クロックの立上りと立下りの 2 つのタイミングで書込み/読出しが行えるメモリー)
- ・ECC:Error Correcting Code (データのビット誤りを検出・訂正するためのコード)
- ・BIOS:Basic Input Output System (コンピュータを形成するプロセッサやメモリー、HDD などのハードウェアを制御するプログラム)

■他社商標注記

- ・インテル、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・Ethernet は、米国 Xerox Corp.の商品名称です。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。
- ・Wake on LAN は、米国 IBM Corporation の商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■HF-W シリーズ ホームページアドレス

<http://www.hitachi.co.jp/hfw/>

■担当事業部・照会先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ 情報制御システム事業部 情報制御ソリューション本部
 情報制御機器部 プロダクトマーケティンググループ 【担当:横山】
 〒108-6113 東京都港区港南二丁目15番2号(品川インターシティB棟)
 電話 (03) 5495 - 7120 (ダイヤルイン)

以上

添付資料

HF-W6500 モデル 20 の仕様

項目	A モデル		D モデル	
プレインストール OS	Windows®2000 Professional 日本語版/ Windows®XP Professional 日本語版			
プロセッサ	インテル®Pentium®M プロセッサ 745(1.8GHz)(二次キャッシュメモリ 2MB)			
メインメモリー	オプション選定(最大 2GB)、ECC 付			
表示解像度(表示色)	最大解像度 1,280×1,024(約 1,670 万色)			
ファイル装置	FDD	3.5 型 2 モード標準実装		
	CD-ROM	標準実装		
	HDD	オプション選定 (80GB 以上)	オプション選定 (ホットスワップ 80GB 以上ミラー)	
拡張バス	PCI	ショートサイズ×2、ロングサイズ×4 (5 型ベイ実装時:ショートサイズ×4、ロングサイズ×2)*		
標準入出力 インタフェース	ディスプレイ	RGBHV(Mini D-sub 15 ピン)、DVI-D 24 ピン		
	キーボード	PS/2		
	マウス	PS/2		
	シリアル ポート	1ch(RS-232C、D-sub 9 ピン) オプションで 1ch 増設可		
	パラレル ポート	1ch(セントロニクス準拠、D-sub 25 ピン)		
	USB ポート	3ch(前面 1ch、後面 2ch、USB2.0/1.1)		
	LAN ポート	1ch(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 自動切り替え、 RJ45、Wake on LAN™対応)		
	オーディオ	AC' 97 ライン出力×1、ライン入力×1		
RAS 機能	ファン停止、温度異常、ウォッチドッグタイマ、電源断、CPU ストップ、 リモートパワーオン/リセット/シャットダウン、SMART、状態表示デジタル LED、 簡易ハードウェア自己診断機能 RAS 外部接点インタフェース(D-sub25 ピン)はオプション			
外形寸法(W×D×H)	400×450×150mm(ゴム足、19 型ラック取り付け金具は含まず)			
質量	約 14kg		約 15kg	
定格消費電力	450VA		450VA	
省エネ法に 基づく表示 (2007 年度規定)	区分	I		I
	エネルギー 消費効率 **	0.0077		0.0085
電源	電圧	AC100-240V±10%		
	周波数	50/60Hz±3Hz		
EMI	VCCI classA、FCC classA 準拠 ***			
安全規格	UL/CSA/CE/CCC 準拠 ***			
標準付属品	キーボード、マウス、電源ケーブル 注)ディスプレイは別売りです。			
オプション品	メインメモリー、HDD、LAN アダプタ、 内蔵 MO、RAS 外部接点インタフェース、 増設シリアルインタフェース、ラックマウント取付金具、 メモリー監視ツール、システム障害監視ツールほか			

*: 汎用 5 型ベイに市販のデバイスを取り付ける場合次の制約があります。

- (1)市販デバイスのサイズによっては実装できない場合があります。
- (2)市販デバイスも含めた装置全体としての EMI、安全規格についてはお客様責任となります。
- (3)市販デバイスとの接続動作についてはお客様責任となります。

**：エネルギー消費効率とは省エネ法(エネルギーの使用と合理化に関する法律)で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

***:各規格のサポ-ト時期については、弊社担当営業にお問い合わせください。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
